

六大陸と三大洋

世界の姿

日本の姿

気候と暮らし

アジア州

ヨーロッパ州

アフリカ州

北アメリカ州

南アメリカ州

オセアニア州

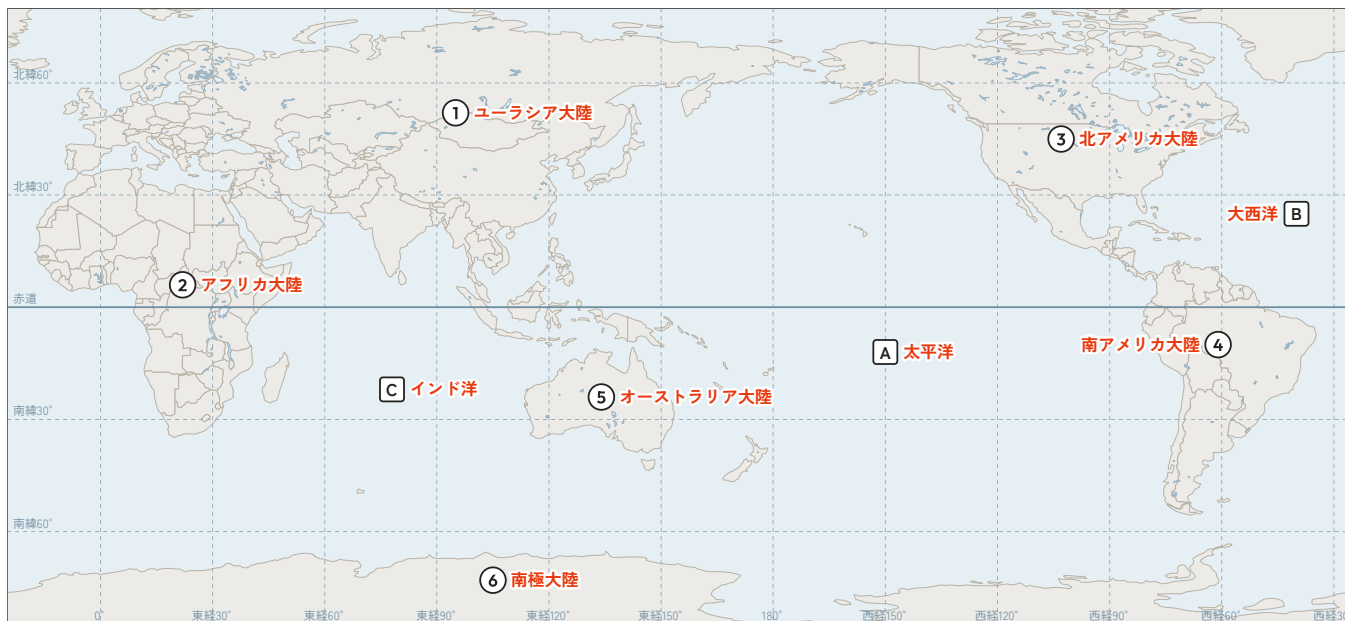
今日の問い

地球の表面には、どんな大陸と海洋が広がっているのだろう。

読み終わったら、最後の「問いへの答え」を見る前に、自分の言葉で答えてみよう。

地図で見る六大陸と三大洋

赤い字は赤シートで消えます



1 六大陸と三大洋

陸と海

ろくたいりく
六大陸

地球上にある6つの大きな陸地。

さんたいよう
三大洋

太平洋・大西洋・インド洋の3つの大きな海洋。

りくち かいよう
陸地と海洋

面積の割合はおおよそ3対7で、海洋のほうが広い。

地球の表面は、陸地と海洋からなる。面積の割合はおおよそ3対7で、表面の約7割が海洋である。陸地は北半球に多く、南半球は大部分が海洋におおわれている。

大きな陸地を大陸といい、ユーラシア大陸・アフリカ大陸・北アメリカ大陸・南アメリカ大陸・オーストラリア大陸・南極大陸の六大陸がある。いちばん大きいのはユーラシア大陸、いちばん小さいのはオーストラリア大陸で、南極大陸は厚い氷におおわれている。大陸のほかに、日本列島のような多くの島々がある。

大きな海洋には、太平洋・大西洋・インド洋の三大洋がある。広さは太平洋・大西洋・インド洋の順で、いちばん広い太平洋は、地球上の陸地をすべて合わせたよりも広い。日本は太平洋に面している。三大洋のほかに、日本海や地中海のような小さな海もある。

問いへの答え

地球の表面の約7割は海洋で、陸地は約3割である。陸地には、ユーラシア大陸をはじめとする六大陸と多くの島々があり、海洋には、太平洋・大西洋・インド洋の三大洋と、それより小さな海がある。三大洋の中でいちばん広いのは太平洋で、日本も太平洋に面している。

次はノートで、下線に語句を書きながら確かめよう →

